

災害への備え

本格的な大雨シーズン到来 ―事前の準備で風水害に備えましょう―

市からの情報発信

災害時には、防災行政無線、緊急速報メール、市ホームページ、Fメール、データ放送、市公式SNS、広報車などを使い、市から情報を発信します。

防災行政無線が聞き取りづらいときは

☎ 電話で確認

防災行政無線電話自動応答サービスで放送内容を電話で確認できます(通話料有料)。
TEL049・256・8877

✉ Fメールで確認

市政情報などのメール配信サービスで放送内容を配信します。詳しくは、今月号の2～5ページをご覧ください。

📱 dボタンで確認

データ放送で、放送内容を確認できます。各局の視聴中にリモコンのdボタンを押してください。

各防災機関のリンクを掲載

気象庁・国土交通省・県からお知らせする気象情報や河川などの情報を市ホームページにリンクしています。



国・県からの情報発信

●荒川・入間川・新河岸川が洪水予測・発生した場合

緊急速報メールで洪水情報(指定河川洪水予測の氾濫危険情報〈警戒レベル4相当〉、氾濫発生情報〈警戒レベル5相当〉)を配信します。

問合せ 荒川・入間川=国土交通省荒川上流河川事務所 防災情報課TEL049・246・6384
新河岸川=県河川砂防課TEL048・830・5137

避難情報が発令されたら

避難とは自然災害から「命を守るための行動」です。自らの判断で、早い段階からの行動が大切です。

避難情報は、夜間や深夜に発令される場合があります。命や財産を守るため、自らの判断で早い段階から避難行動をしましょう。

今いる場所よりも安全な場所へ向かう
立ち退き避難(早めの行動)

道路が冠水する前

- 安全な場所へ避難(親戚・知人宅など)
 - 指定避難所へ避難
 - 近所の高い建物などへ避難
- ※高台のスーパーやファミリーレストランなども一時待機場所として有効です。



浸水被害発生

今いる建物内で安全な場所へ移動する
屋内安全確保(即座に行動)

移動が危険な場合

- 屋内の安全な場所で待機
 - 2階以上へ移動
- ※屋内が危険な場合は、迷わず消防や警察に救助を要請してください。



浸水の中にやむを得ず避難する場合は…

浮遊物のほか、下水道のマンホールや側溝などへ転落・転倒の恐れがあり危険です。棒などで地面を探りながら歩きましょう。



感染症対策に引き続きご協力を

災害時における避難は、密集した空間内での集団生活などにより、感染症のリスクが高まる危険性があります。災害時の避難に備えた準備をお願いします。

●自分に合った避難を考える

在宅避難 ライフラインが停止していても倒壊や浸水などの危険性がなく、住める場合は、在宅避難を考えましょう。

分散避難 避難場所を分散させるため、

- 安全な場所に頼れる人がいれば、そこに避難することも検討してください。
- 指定避難所への避難 自宅が危険な場合は避難所へ避難してください。指定避難所を再確認しておきましょう。
- 手洗い、咳エチケットなどの基本的な対策の徹底 避難した際は、小まめな手洗い、咳エチケットなどの基本的な感染症対策を行

- いましょう。
- 十分な換気の実施、スペースの確保 避難所内では十分な換気とともに、避難者同士の間隔を空け、スペースを確保しましょう。
- 避難所への持ち物 マスク、アルコール消毒液、体温計、ハンドソープ、ビニール手袋などの感染症対策に必要な物品も用意しましょう。

警戒レベルと避難情報

気象庁や市が、被害発生や拡大により発表・発令します。

●警戒レベル

災害発生の危険度と取るべき避難行動を直感的に理解するための情報です。

●避難情報

被害発生の可能性や今後の被害拡大を予想し、発令します。被害が拡大する前に段階に応じた避難行動をとりましょう。

気象庁の「キキクル」(危険度分布)を活用しましょう

気象庁は、大雨や洪水による災害発生の危険度の高まりを地図上で視覚的に確認できる「キキクル」を気象庁ホームページで公開しています。

危険度に応じて5段階で色分けをして地図上にリアルタイム表示しますので、直感的に危険を把握でき、災害から自分や大切な人の命を守ることに繋がります。



警戒レベル	避難情報	市民の皆さんがとるべき行動
警戒レベル5	緊急安全確保(市が発令)	命を守るための最善の行動をとる
警戒レベル4までに必ず避難!		
警戒レベル4	避難指示(市が発令)	全員 避難
警戒レベル3	高齢者等避難(市が発令)	高齢者 障がい者 乳幼児 その支援者は避難
警戒レベル2	大雨注意報・洪水注意報(気象庁が発表)	避難に備え、自らの避難行動を確認
警戒レベル1	早期注意情報(気象庁が発表)	最新の防災・気象情報に注意するなど 災害への心構えを高める

※身の危険を感じたときは警戒レベルに関わらず避難してください。必ずしも段階的に、レベル1から発令されるとは限りません。

避難指示までに必ず避難

「避難勧告」が廃止され、警戒レベル4の「避難指示」に一本化されました。「避難指示」が発令されたら、危険な場所から全員避難しましょう。

- ふじみ野市役所……………〒356・8501 埼玉県ふじみ野市福岡1・1・1 TEL049・261・2611 FAX049・266・6245
- ふじみ野市大井総合支所…〒356・8555 埼玉県ふじみ野市大井中央1・1・1 TEL049・261・2811 FAX049・266・6271
- ふじみ野市役所出張所……〒356・0006 埼玉県ふじみ野市霞ヶ丘1・2・7 TEL049・261・0353 FAX049・261・0785

消防団

消防団の団員を募集「自分たちのまちは自分たちで守る！」



島田 智之 消防団長

ふじみ野市消防団の団員数は110人で、自らの仕事を持ちながらも、地域の消防防災のリーダーとして、平常時・非常時を問わず地域に密着し、市民の皆さんの安心と安全を守るという重要な役割を担い、活動しています。

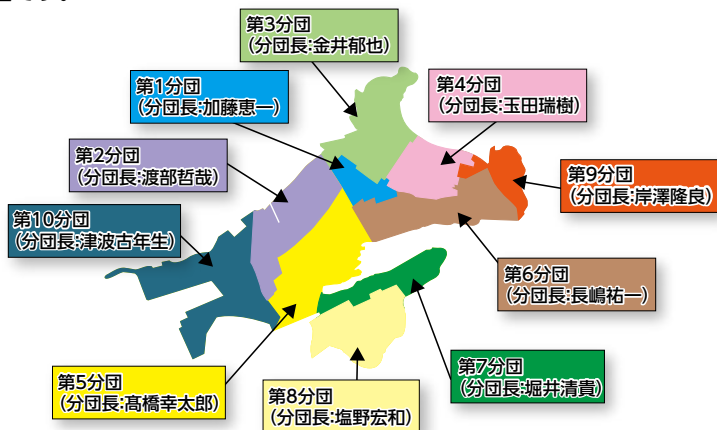
近年は女性の消防団への参加も増加しており、現在8人の女性団員が救命講習の指導などで活躍しています。

本年度の役員と担当地域は下の図と表のとおりです。新たな団員も、性別を問わず募集しています。学生も歓迎です。ぜひお問い合わせください。

●主な活動内容

- ・災害現場での消火、救助・救出、警戒、避難誘導
- ・車両巡回による火災予防広報
- ・消火栓、保有機械器具の点検
- ・お祭りなどの巡回

本部	団長	島田 智之		
	副団長	三浦 貴士 三上 俊哉		
	本部員	関根 寛之	柿沼 豊	宮寺 真治
		土屋 健一郎	梶 寛典	島田 純
	班長	上明戸 恭子		



問合せ●危機管理防災課 (TEL049・262・9017)

選挙

投票立会人をやってみませんか

選挙管理委員会では、投票日当日や期日前投票における投票立会人を募集しています。

投票立会人とは、投票事務の公正を確保するために公益代表として投票事務に立ち会う重要な役割を果たす人で、原則として18歳以上の選挙権を持つ人なら、投票区を問わずどんなでもなることができます。

公平・公正な選挙のため、ぜひご協力ください。

対象 市内に住所を有し、市の選挙人名簿に登録されている人

申込方法 投票立会人登録申込書に必要事項を記入し、持参か郵送で申し込む



投票立会人の主な役割

- ・投票が始まる前に投票箱の中に何も入っていないことを確認するなど、投票手続き全般に立ち会う
- ・代理投票補助者の選任などについて投票管理者に対し意見を述べる

問合せ●選挙管理委員会 (TEL049・262・9006)

予算

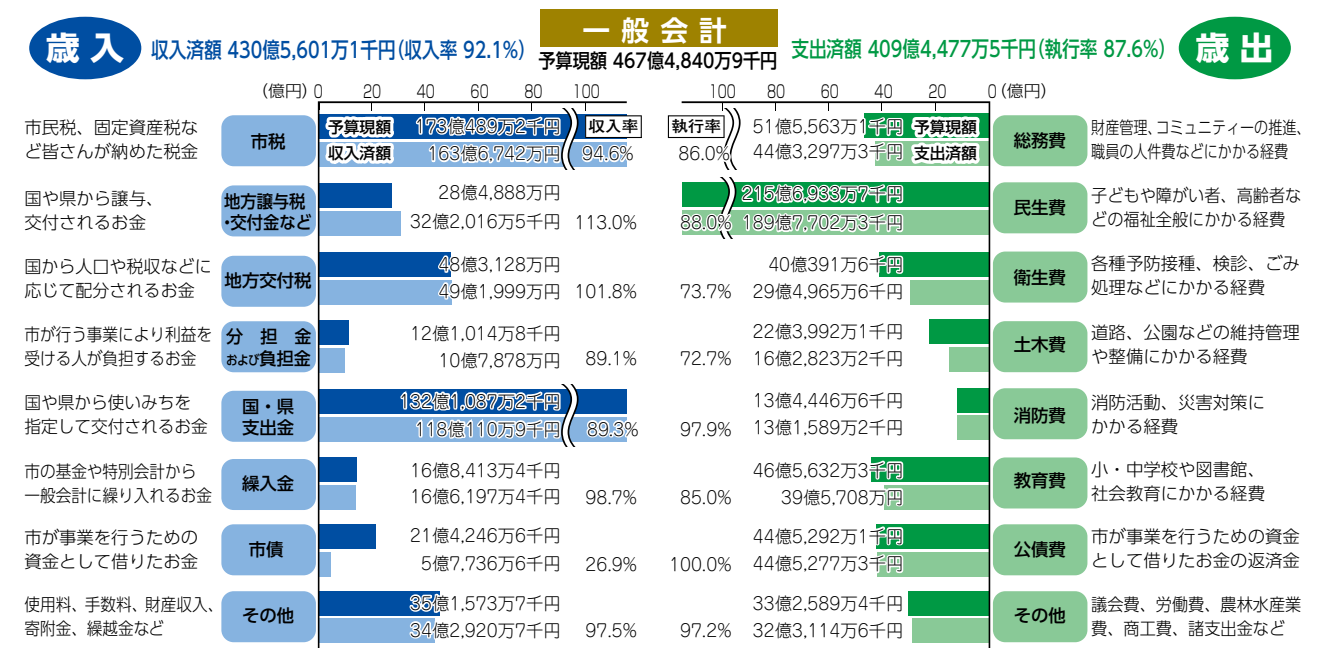
令和4年度予算執行状況・財政状況を公表します

市の財政運営の状況を広く市民の皆さんにお知らせするため、財政状況を年に2回公表しています。今回は、令和4年4月1日から令和5年3月31日までの執行状況をお知らせします。

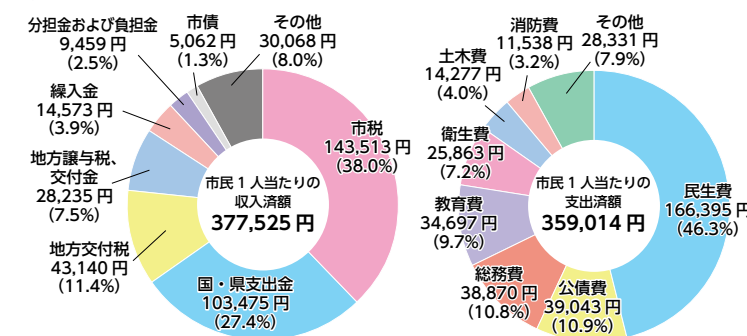
令和4年度ふじみ野市一般会計の当

初予算は430億5,858万7千円でしたが、その後8回にわたり編成された補正予算により18億5,292万2千円を増額し、これに前年度からの繰越事業費の18億3,690万円を加えた、総額467億4,840万9千円で運営されました。

令和5年3月31日時点での予算現額に対する収入率は92.1%、支出の執行率は87.6%となっており、前年度同時期と比較して収入率は8.2ポイントのプラス、支出の執行率は13.9ポイントのプラスとなりました。



◆市民1人当たりの収入済額・支出済額



※令和5年3月31日現在の人口: 114,048人。

◆地方債の残高

会計名	残高	市民1人当たりの残高
一般会計	375億5,118万8千円	329,258円
水道事業会計	14億4,691万5千円	12,687円
下水道事業会計	29億1,448万3千円	25,555円
合計	419億1,258万6千円	367,500円

※市の予算執行は、翌年度の4月1日～5月31日が出納整理期間であるため、今回お知らせする金額などは決算の値ではありません。

◆特別会計・企業会計

会計名	歳入			歳出		
	予算現額	収入済額	収入率	予算現額	支出済額	執行率
国民健康保険特別会計	96億5,304万5千円	93億3,811万1千円	96.7%	96億5,304万5千円	92億8,970万円	96.2%
介護保険特別会計	87億3,890万8千円	84億5,042万2千円	96.7%	87億3,890万8千円	75億3,747万5千円	86.3%
後期高齢者医療事業特別会計	15億6,403万7千円	15億4,556万2千円	98.8%	15億6,403万7千円	14億3,893万6千円	92.0%
水道事業会計	18億1,275万7千円	19億1,527万5千円	105.7%	18億6,253万円	17億2,865万円	92.8%
	1億8,818万円	7,100万8千円	37.7%	7億90万2千円	3億9,821万7千円	56.8%
下水道事業会計	16億3,770万円	16億2,394万5千円	99.2%	16億700万9千円	14億7,799万1千円	92.0%
	10億4,353万5千円	8億475万6千円	77.1%	12億8,154万9千円	9億3,379万4千円	72.9%

問合せ●財政課 (TEL049・262・9004)